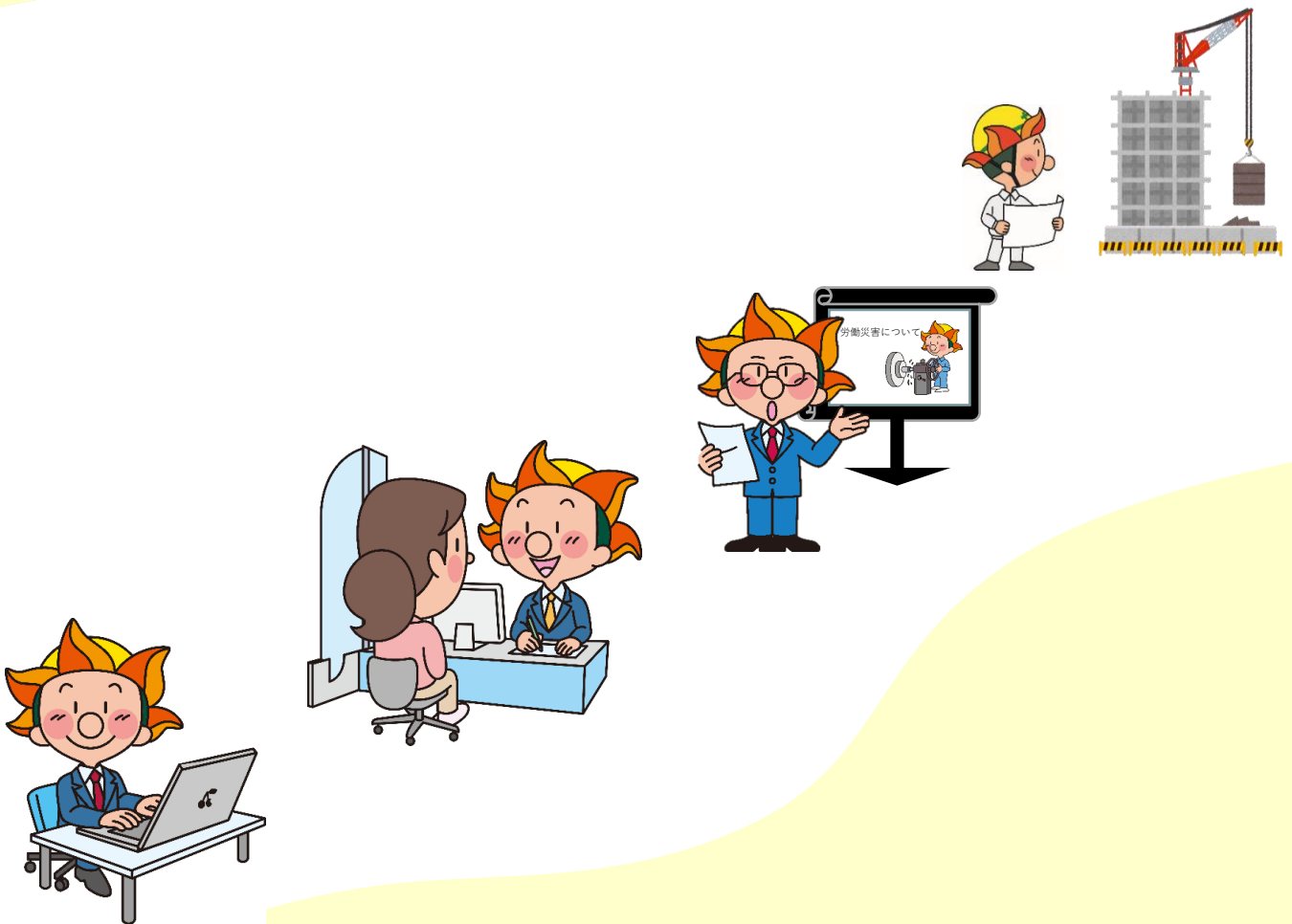


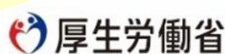
山形労働局職員からのメッセージ

ー 現場で働く職員の声 ー



ひと くらし みらいのために

はじめまして、山形労働局のイメージ
キャラクターの「ヤッピー」です。



山形労働局

公務員を志望する方から

「労働局の仕事はイメージしにくい」

といった声を時々耳にします。

労働局の仕事を皆さんに

「知ってもらいたい！伝えたい！」

と思い、山形労働局の第一線で活躍する職員5人に、ヤッピーがインタビューをしました。

インタビューした内容をご覧いただいた後に、労働局の仕事についての理解が進み、皆さんの疑問や不安が解消され、業務にやりがいや魅力を感じていただければ嬉しいです。



氏名：藤貫 充伸
 所属：庄内労働基準監督署
 第一方面監督官
 採用：令和5年度



Q1. 山形労働局を志望した理由を教えてください

近年、働き方改革やワークライフバランスなど、労働環境を巡る国民の関心が高まっていると思います。労働は人生の3分の1以上の時間を過ごす、非常に重要なものであると考えています。働く人の労働環境を少しでも良くしていきたいと考え、労働局を志望しました。

Q3. 労働局職員に必要なスキル・資質はありますか

様々なことに興味を持つことだと思います。会社と言っても製造業や建設業、運送業など多種多様な業種の人と接する機会があります。その人たちがどんな働き方をしているのか、どんな問題を抱えているのかなど、その業種にあった適切な改善を図っていけるように考えていくことが重要になってきます。

Q5. 皆さんへメッセージをお願いします

現在、働き方改革として様々なことがニュース等で取りざたされていると思います。試験の勉強で知識として理解してもよく分からない、自分には関係ないと思っている方も多いと思います。ですが、労働は生活の一部であり皆さんにとっても大切なものです。ぜひこの機会に少しでも労働行政に興味を持っていただけたら幸いです。

Q2. 山形労働局で働いてみた印象、良かったと思うことはありますか

経験豊富な人がたくさんいることです。入省して2年目でまだまだ業務で分からない、不安な部分もたくさんあるのですが、先輩や上司に質問すると優しく丁寧に教えてもらえるので、初めての業務でも臆することなく挑戦できると思います。

Q4. プライベートの両立はできていますか

年休も取りやすく、残業も比較的少ないので、仕事とプライベートは両立できると思います。私自身、体を動かすことが好きなので、仕事終わりはすぐにジムに行って運動をしています。他にも休みの日にはドライブに行ったり地元の観光地を周りたりできて充実しています。



氏名：今井 茉奈実
 所属：米沢労働基準監督署
 安全衛生課安全衛生係
 採用：平成31年度



Q1. 山形労働局で働くやりがいや魅力はどんなところですか

他の労働局でも勤務しましたが、山形労働局は内外問わず穏やかな人が多い印象です。また、必要な知識を習得するための研修や資料も充実しているので安心して働くことができます。自分が生まれ育った山形で、働く人々を支える仕事ができる労働行政にやりがいを感じています。

Q3. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

行政として公平、中立である必要があるため、その場の感情に流されず、冷静に物事を判断すること、どんな時も相手の立場に立って物事を考え、相手への敬意を忘れないことを大事にしています。時に立場上対応が難しい相談をされることもありますが、相手の話を最後まで聞き、納得してもらえようとお話することを心がけています。

Q5. 皆さんへメッセージをお願いします

睡眠同様、仕事をしている時間は人生の多くを占めているため、誰にとっても職場環境は非常に重要です。労働行政の仕事は、労働基準、安全衛生など「労働」にまつわる様々な法律に基づいて働く人々を最前線でサポートできる仕事です。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！

Q2. 仕事で苦労したこと、辛かったことはありましたか

労使問わず様々な業種の方と関わる仕事なので、最初は業界特有の専門用語などに翻弄されていました。知識習得のために法律を勉強することも大事ですが、様々なことに関心を持ち経験することが大事だと思っています。入省6年目になりますが、まだまだ知らないことばかりなので日々奮闘しています。

Q4. プライベートの両立はできていますか

労働行政として、ワークライフバランスを推進していく立場にあるということもあり、休暇がととても取得しやすいです。昨年度は夏季休暇と年次有給休暇を利用して海外旅行に行くことができました。休日に趣味などでリフレッシュすることが日々の仕事の活力となっているので、計画的に取得しています。



氏名：松田 崇佑

所属：村山労働基準監督署

監督・安衛課安全衛生係長

採用：平成29年度



Q1. 山形労働局で働くやりがいや魅力はどんなところですか

労働基準監督官は、労働基準法や労働安全衛生法等の所管する法律の適正な適用を目指す仕事です。労働者の方々が安心して働ける職場環境を整備するという役割にやりがいを感じます。また、様々な業種の会社を訪問するので、普通では立ち入ることができない工場に行ったり、多くの会社担当者と話をする中で幅広い知識を身につけることができる点も魅力に感じます。

Q3. 労働局職員に必要なスキル・資質はありますか

所管する法律の知識や、人と接する機会が多いので対人能力、ほかには、文書を作成する場面も多いので、一定の文書作成能力も求められると思います。しかし、これらは入省後に働いていく中でも身につけることが可能だと思います。労働行政に興味・関心があること自体が資質といえるのではないかと思います。

Q5. 皆さんへメッセージをお願いします

労働基準監督官の仕事に関心のある方はぜひ山形労働局をご志望ください。なにか気がかりなことがあるようでしたら、お気軽にお尋ねください。皆様と一緒に働ける日を楽しみにしています。

Q2. 仕事で苦労したこと、辛かったことはありましたか

幅広い知識を身につけられることが仕事の魅力とお伝えしましたが、それは反面、多くの知識の習得が求められるということであり、この点に苦労することもあります。人事異動で様々な部署の仕事を経験することがありますが、初めて経験する業務に慣れるまでは一定の時間が必要です。しかし、上司や先輩等から助言を受けて仕事に臨める環境が整っているため、安心して働くことができます。

Q4. プライベートの両立はできていますか

組織的に職員の有給休暇の取得促進に取り組んでおり、有給休暇が取得しやすい職場環境です。通常の有給休暇とは別に7月から9月までの3か月の内、任意の連続した3日について夏季休暇を取得できます。他には、毎週水曜と金曜が定時退庁日としてノー残業が奨励される等、プライベートの活動に充てる時間を十分に確保することができます。



氏名：遠藤 賢
 所属：山形労働基準監督署
 第一方面主任監督官
 採用：平成18年度



Q1. 山形労働局で働くやりがいや魅力はどんなところですか

山形労働局で働くようになってから、「話を聞いてくれてありがとう」、「相談して良かった」などの温かい言葉をいただくことが増えました。これも山形の県民性なのかもしれませんが、この仕事を行う上での最大の魅力の1つだと思いますし、その言葉をもらうことで私自身凄くやりがいを感じます。

Q3. 仕事を進める上で大切にしていることはありますか

この仕事をしていると、必然的にたくさんの方と話をします。その中で、相手が何を伝えたいかを瞬時に判断し、それに対して的確なアドバイスを提案することを心掛けています。また、どの仕事でもそうですが、難しい局面に出会う場面があるため、その時は担当官1人に任せることなく、組織的に対応することを心掛けています。

Q5. 皆さんへメッセージをお願いします

労働の多様化や高齢化社会への対応等で、現在の労働環境は大きな変革期にあると思います。その中で労働行政の役割は自ずと増えるでしょうし、それに比例して監督官のニーズも大きくなると感じます。いろいろとやりがいを感じる仕事なので、興味のある方は是非よろしく願います。

Q2. 労働局職員に必要なスキル・資質はありますか

労働基準監督官の使命は、労働関係法令を会社に守ってもらう事に尽きます。そのためには、法律の知識も然ることながら、法律を理解してもらうためのコミュニケーション能力が重要となります。なお、法律の知識について心配される方もいますが、入省後の研修が充実しているため、さほど気にする必要はないと思います。

Q4. プライベートの両立はできていますか

率先して仕事とプライベートの両立を図るべき職場ですので、自分のペースで有給休暇を取得できますし、産休・育休の制度も充実しています。また、近年は男性職員の育児休暇の参加を積極的に呼びかけています。その点に疎い私も、第三子が生まれた時は育休を取得し、出産後の子供の成長を傍で見守ることができました。



氏名：阿部 浩志
 所属：山形労働基準監督署
 署長
 採用：昭和63年度



Q1. 山形労働局（労働行政）の役割を教えてください

この世ではほとんどの人が何らかの職業に就いて生涯の大半を過ごすこととなりますが、その過程では職探しに始まり、賃金不払い、仕事によるケガ、ハラスメント、解雇など様々な困難な問題に遭遇してしまうことがあります。そのような問題を未然に防止し、また、問題が起きた場面においても労働関係法令に基づき労働者を保護することが労働行政の役割です。

Q3. 労働局職員に必要なスキル・資質はありますか

監督署の仕事は、事業場に出かけて行き、事業者の方の話をよく聞くとともに、法の遵守に向けた説得をすることが主要な業務であることから、対人的なことが苦にならないことが好ましいです。山形労働局は、若手職員に対する研修がとて充実していることが自慢です。初めは苦手に思ったことも、しっかりと知識や技能の習得に努めながら、それを活かす実践を積み重ねれば積むほど毎日の仕事が楽になり、楽しくなっています。

Q2. 山形労働局で働くやりがいや魅力はどんなところですか

私は山形県内の出身ですが、都会の生活にあこがれ、採用後9年間、関東地方で勤務していました。しかし、毎日の通勤ラッシュや業務の多忙に疲れ果て、人間らしい暮らしを求め、故郷に帰ることにしました。山形県に帰ってからも、業務は決して少なくはありませんが、ほとんどの事業場の方が監督署に協力的であるなど、心理的に非常に楽になりました。職員も穏やかな方が多くて職場内の関係が良く、互いに気兼ねなく質問や相談できることもうれしいところです。このようなことから、県外出身者で山形労働局に本拠を構えることにした方も少なくありません。

Q4. 皆さんへメッセージをお願いします

働く人々の適正な労働条件の確保、働くことにより生命や健康が損なわれるような事態の防止を目的に、労働基準監督官は日々事業場に対する指導等に取り組んでいます。山形県で働く人々のため、山形労働局でいっしょに働いてみませんか。熱意ある方のご応募をお待ちしています。

山形労働局



山形労働局ホームページ
QRコード

問い合わせ先

〒990-8567

山形市香澄町3-2-1 山交ビル3F

山形労働局総務部総務課人事係

担当：菅野・西塚・吉田

Tel.023-624-8221

